

慶應外語 2020 年秋学期		シラバス Syllabus	
外国語科目	レベル	曜日	担当講師名
ロシア語	上級	木	守屋 愛
講座名	総合ロシア語		
使用テキスト	授業時に配布		

当講座の目標

この講座では、ロシア語の基本文法をひと通り学習し、基礎会話のレベルを習得した人を対象として、さらなるロシア語のレベルアップを図ります。

ロシア語の勉強が進んでくると、今度は、自由にロシア語の新聞や雑誌を読みたい、インターネットを活用してみたい、テレビ・ラジオを視聴してみたいと、きっとみなさん考えることでしょう。情報社会が飛躍的に発展した現在、とりわけインターネットを使って、私たちはダイレクトにロシア語の情報にアクセスできます。ですが、最初はロシア語のネイティブスピードに難しさを感じたり、教科書では習わなかった口語表現に戸惑ったりすることが多いのではないのでしょうか。そこで、この授業では、ロシア語の動画を題材にして、現地の生のロシア語におおいに触れて、語彙数を増やし文法を確認しながら、少し難しいロシア語表現を学習していきます。

授業の内容と方法

今学期の授業ではロシアのニュースを教材にします。そのときどきのニュースをまずは映像と音声で、自分たちでロシア語を単語レベルから文章レベルに完成させながら、理解していきます。最後にテキストも見ながら確認します。毎回取り上げるニュースは大体 60 秒弱、100 語くらいのものが目安です。新しいニュースについて予習は必要ありませんが、必ず復習をして、新しい語句を覚えるよう心がけてください。

○授業の進め方

まず、ロシア語のニュースに出てくる単語を辞書の形で（動詞なら不定形、名詞なら主格、形容詞なら男性形といったぐあいに）すべて確認します。わからない単語があればその都度説明をしますから、これに予習は必要ありません。

つぎにセンテンスごとに何回かロシア語を聞いて、なるべく単語を発話順に直します。もちろん、語尾まですべて聞き取れれば問題はありませんが、聞き取れなくても、前後の文脈や語尾変化などから正しい統語の文章にしていく練習をします。これは文法の練習になります。

音声にそくした正しい文章を完成させたら、日本語に訳しましょう。場合によっては、正しい語尾を見出すために、その過程で日本語の意味を確認することもあります。

最後にロシア語のテキストでも確認しながら、ニュースを聞いていきます。

この学習では、なるべくロシア語に耳を傾けること、単語をつなぐ際に文法を考えていくことに主眼をおいています。

授業であつかったニュースの語句を覚えることを、次の授業までの課題とします。そして、次の授業時には最初の 15 分間に、他のマスコミが報じた同じテーマのニュース（10 行ほどのもの）を和訳することを小テストとして出題します。このテストの課題はすぐそのあとに講読して確認します。

授業で取り上げるニュースはインターネット上で見られるものを使用するので、家庭での学習の際にも大いに役立ててください。

講座回数	講座日	講座の計画
第1回	4月16日	『今週のニュース』：単語の確認・聞き取り・文法確認
第2回	4月30日	前回と同じ話題のニュースで確認テスト 和訳と文法の確認 『今週のニュース』：単語の確認・聞き取り・文法確認
第3回	5月7日	前回と同じ話題のニュースで確認テスト 和訳と文法の確認 『今週のニュース』：単語の確認・聞き取り・文法確認
第4回	5月14日	前回と同じ話題のニュースで確認テスト 和訳と文法の確認 『今週のニュース』：単語の確認・聞き取り・文法確認
第5回	5月21日	前回と同じ話題のニュースで確認テスト 和訳と文法の確認 『今週のニュース』：単語の確認・聞き取り・文法確認
第6回	5月28日	前回と同じ話題のニュースで確認テスト 和訳と文法の確認 『今週のニュース』：単語の確認・聞き取り・文法確認
第7回	6月4日	前回と同じ話題のニュースで確認テスト 和訳と文法の確認 『今週のニュース』：単語の確認・聞き取り・文法確認
第8回	6月11日	前回と同じ話題のニュースで確認テスト 和訳と文法の確認 『今週のニュース』：単語の確認・聞き取り・文法確認
第9回	6月18日	前回と同じ話題のニュースで確認テスト 和訳と文法の確認 『今週のニュース』：単語の確認・聞き取り・文法確認
第10回	6月25日	前回と同じ話題のニュースで確認テスト 和訳と文法の確認 『今週のニュース』：単語の確認・聞き取り・文法確認
第11回	7月2日	前回と同じ話題のニュースで確認テスト 和訳と文法の確認 『今週のニュース』：単語の確認・聞き取り・文法確認
第12回	7月9日	前回と同じ話題のニュースで確認テスト 和訳と文法の確認 期末試験
<p>担当講師から受講生へのコメント</p> <p>授業には積極的に参加してください。ニュースはたいてい、その前の週のニュースから選び出すので、興味のある分野があればぜひ前もって知らせてください。新しいニュース教材については予習は不要ですが、毎回あつかったニュースの単語が次の回の小テストの範囲となりますから、しっかり復習して語彙を定着させてください。</p> <p>学生のレベルによっては、新しいニュースの聴解の際にあらかじめ単語を提示しない、または、確認テストの際に辞書の使用を許可する、なども考慮しますので、学習法にリクエストがあれば遠慮なく申し出てください。</p>		